

出席者 市教委(委) 宮島年夫教育長 鈴木達見指導主事
知教労(組) 佐田京美 市野 司 堀口典宏

●勤務時間の集計について

組 大府市で独自で計画している勤務時間の集計計画はどこまで進んでいるのか。

委 吉田小と大府南で実証実験をしたが、一台のパソコンでやると渋滞が起きるので、自分のパソコンでできるよう改善した。ただ、給特法の関係で、単月集計では年集計が見えない状況にある。来年度4月から全ての職場で実施する予定である。

組 組合が行なった6月の出退校時刻の記録の調査によると、未だコピーペーストの疑いがあるシートがある。管理職にもあった。休憩時間が取れないのに8:30を引いて記録している。来年度4月まで今と同様の集計方法ならば、きつく指導し、教育委員会もチェックしてほしい。

委 承知した。

●勤務時間の上限規定について

組 今年は上限規定が法的根拠を持った。上限を守るために市教委はどのように考えるか。

委 45時間360時間は悩ましい。国が教育課程としてやることを減らさない。ビルド&ビルドばかりだ。教員の配置もできていない。県が条例を改正して県立は来年度4月から上限規制が始まる。義務教育にも要請が来ている。絶対定めなければならないのか?という質問も出た。もし過労死等の発生があったら「規則すら定めてないのか」と言われる可能性がある。令和3年度にやりきれんのかという自信はない。今後定める教委もあるし、やりきれないから保留にする教委もあるだろう。県は「罰則規定はありません」と言った。

組 国の指針では今年度の4月からすでに上限を守ることになっている。すでにやらねばならない。一般企業では、守らなかった場合罰則があるというのに教育界は厳しさが無い。罰則規定がないからといって曖昧にしてはならない。

●部活動の削減について

組 法律を遵守する上で、大きく業務を減らすことが求められる。小学校では部活動自体を、中学校

ではまずは朝部活をやめてほしい。

委 やがて日本の学校から部活や課外活動は消えていく方向にあると思う。

大府市の小学校の部活は縮小し続けている。今はバスケ、サッカーをどういう方向で閉じていくかを探っている。金管は難しいところだ。いろいろと縮小の方向で考えている。

中学校では、6・7月の朝部をなくしただけでかなり声(批判)をもらった。教育委員会が廃止を打ち出せばやりたい人間も抑えられるのではないかと思っているかもしれないが、教員や保護者にはまだまだやりたい人もいる。4中それぞれまず学校内で議論してほしい。文科省は部活の意義を認めている。今なんとかお願いしているのは部活動指導員の更なる活用である。

組 すぐに部活を全てやめよとは言っていない。せめて朝部をやめていくべきだ。冬場はシーズンオフでよい。練習をし続けなければならないという発想は、その次にある「試合に勝つ」という目標があるからだ。学校教育での部活動は、勝利を目標にするのではなく、広く文化・スポーツに親しむことだ。

常滑市はすでに朝部活をやめ、管内のある中学校長は働き方改革の中で朝部活をやめることを宣言した。朝のゆとりが生まれる。朝部活をやめて苦情があったとしても、やめてよかったと言う声も必ずある。

校長や職員ですら勤務時間を意識できない状況がある。市民は教員の勤務時間を知っているのか。学校の入り口に貼るなど勤務条件を周知してほしいぐらいだ。勤務時間外で、しかも時間外手当もないことを知った上でも、朝練をやらないことに苦情がくるだろうか。

委 今のお話を否定する部分はない。ベクトルは同じ方向を向いている。

組 部活を学校から離す計画を何力年計画かで作ってほしい。

委 お聞きしておく。

●業務の削減について

組 コロナ禍でいろいろなものがなくなった。知教協の学校訪問もなくなったが、大府市独自でやっている。他の自治体でも指導案を全員が書くこともなく授業を回っていく訪問があった。このような形で何の支障もなくやっていくことができるのならば、コロナ後もこのような形でよい。職場体験もしなくてもやっていくことができる。いろいろなものを減らす中で、なくてもやっていけたものは続けなくてもよい。

キャリアパスポートの状況はどうなっているか。

委 ポートフォリオのようなイメージ。県にはキャリアノートがある。累加記録が残っていればいいのだろうと思っている。これで負担をかけることはないと考えている。

組 なくてもよい業務が増えただけ。やらねばならぬとなった場合、極力負担にならないよう統一せず学校で考えられるようにしてほしい。要録と同じように次の校種に送ることも大変な業務量だ。保管するだけでも大変なことだ。

組 作品募集は学校で選定するものは今年は減った。さらに減らしてほしい。

委 市教委でもかなり他の課をお願いして削った。まだ、どのような種類の作品募集が学校選定なのか、実態を知りたい。

組 教員が編集している「知多の友」「数学のリープ」「若あゆ日記」は編集業務量が多く、廃刊すべきと考える。廃刊しても困らない。年度が始まる前に注文するので、新年度に来たらそれを使うしかない。しかも公費で買うとなれば使わざるを、作らざるをえない状況になる。果たして、編集作業・そのための出張・担当者出張のための補欠授業をしてまでも、そのような冊子が本当に必要なのか、現場の職員の声を聞いてほしい。

問題集ならばダウンロードできる方策を考えるのも手だ。健康手帳の内容はC4thのできるので、冊子自体が必要ない。

委 ICT教育に力を入れてやってきた自治体だから、それらを活用できないか、大きな検討課題にさせてもらおう。

組 夏季休業中閉庁しなかった。また、夏休みが8日しかなく年休が取れていない。来年度は取れるように日程を考えてほしい。小学校は自主登校期間、在宅勤務があまりできなかった。

委 来年度は閉庁日を設ける予定でいる。

●その他

組 特別教室のエアコンを入れてほしい。

委 4中とも理科室にエアコンをつけた。暑い中での実験は大変だ。エアコンについては子どもたちの学習・生活の場には入れていくという方向性はある。一つ一つ市長部局に理解をしてもらいながら進める。

組 大府中の職員駐車場を舗装してほしい。

委 初めて聞いた。校務主任を通して要望してほしい。大府小では昨年度きちんと舗装した。

組 印刷機の性能のよいものを導入したが、1枚当たりのコストが高くなり、使いにくくなったという話を昨年した。その後の検証はどのようになったか。

委 職員のためにと考えて良いものを導入したのだが、コストが高くなるのは課題だ。

組 通知表もクリアファイルだけ配付して、学期ごとにはプリントアウトした結果だけを配付するようにすれば、回収や保管の手間が省ける。印刷できれば可能だ。ネッククーラーはほとんど使われていなかった。他に予算が使えたのでは。

委 ネッククーラーはいくつかご批判をいただいた。校長会にも相談して、子どもたちのために良かれと思ってやったことだったが。

組 報道されてから知る、届いてから知る、そんなことが多かった。導入するものは校長だけでなく、現場の先生の意見を聞いてほしい。C4thを使えば大府市全職員のアンケートはできる。

●1年単位の変形労働制について

組 変形労働時間制の導入はどのように考えているか。

委 現時点で検討対象には入っていない。

以上

